

LIBERAL&DEMOCRATIC

自由民主

発行所
自由民主党本部
郵便番号 100-8910
東京都千代田区永田町1-11-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
<毎週火曜日発行>



自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>

特集号

環境副大臣
衆議院議員

ささがわ博義さん

地域に活力 くらしに安心を



自民党は新型コロナウイルスから国民の命とくらしを守るため総力を挙げて対策を講じてまいります。本号外では、その最前線で活躍する笹川博義衆議院議員を特集します。

いあいわり

皆さまには、日頃より大変お世話になっております。新型コロナウイルス感染症拡大防止ならびに対応にご尽力をくださっている皆さまに心よりお礼申し上げます。一日も早く安心・安全な日常を取り戻せるよう、ワクチン接種の迅速化、コロナ禍における地域経済の活性化、くらしの安全に向け全力で取り組んでまいります。

さて、菅義偉内閣では「2050年カーボンニュートラル」(脱炭素社会への移行)の方針を打ち出しました。環境問題は、人類にとって重大かつ喫緊の課題です。産業構造の変革から農業政策などあらゆる分野に関わるものであり、環境副大臣として持続可能な社会の実現、そして子供たちの未来に向け引き続き全力で取り組んでまいります。

衆議院議員 笹川博義

笹川博義さん6つの政策

1. 環境問題への対応—2050年までの脱炭素社会の実現に向け、再エネの普及、産業構造・生活様式の変換推進に係る支援。海洋プラスチックごみ対策
2. 子育て支援—妊娠期から子育て期に至るまでの切れ目のない支援を推進。待機児童解消、高等教育の無償化の実現
3. 障がい者対策—誰もが社会的障壁のない社会で安心・安全に暮らせるユニバーサル社会の実現。障がい者差別解消法改正法の早期施行、ワンストップ窓口の設置
4. 中小企業支援—地域を支える中小企業の持続的発展とグリーン社会への転換、デジタル化への対応など長期的視野に立った企業の変革支援
5. 農業対策—スマート農業による生産性向上と人手不足の解消による農林水産業の成長産業化。産地育成、輸出拡大等による販路開拓
6. 災害対策—河川流域全体での治水対策や新技術を生かした老朽化対策。防災・減災・国土強靱化に向け、新技術などを生かした国土づくりの推進

笹川博義さん プロフィール

【役職】環境副大臣、国連障害者の権利条約批准議員連盟事務局長、自民党海洋プラスチック対策推進議員連盟事務局長、自由民主党学童保育推進議員の会事務局長、ネット社会健全化推進議員連盟事務局長 他
【経歴】環境大臣政務官、衆議院議院運営委員会議事進行係、自民党国会対策委員会副委員長、自民党総務会総務、自民党外国人労働者等特別委員会事務局長、群馬県議会議員(2期) など



環境省政務三役

笹川博義さんの活動は
ホームページやSNSで発信中



HP



Facebook



党員募集中!

衆議院議員 笹川博義事務所

〒373-0818
群馬県太田市小舞木町 270-1
TEL:0276-46-7424
FAX:0276-49-2367

<https://www.sasagawa-hiroyoshi.com/>

SDGs 持続可能な社会へ 未来への希望を、守り、拓く。

写真で見る笹川博義さんの活動

衆議院議員笹川博義さんは、環境副大臣として国政で活躍するとともに、地方議員(群馬県議会議員)、中小企業の経営者の経験を生かし、地域の皆さまの声をしっかりと国へ届けています。



衆議院本会議・答弁



衆議院環境委員会・答弁



「よりよい社会を！グッドライフアワード」授賞式



「命をつなぐPROJECT」学生実行委員会インタビュー



国会見学



尾瀬国立公園視察



脱炭素社会を目指す二酸化炭素・分離回収設備竣工・起動手



電動自動車 視察



JA邑楽館林初荷祝賀会

*過去4年間の活動の写真となります

新型コロナワクチン NAVI

最新情報はここから

厚生労働省HP
新型コロナワクチンについて



ワクチンの効果

発症や重症化の予防が確認されています。

多くの方が接種すれば重症者や死亡者を減らし、医療機関の負担を減らすことにもつながります。さらには、社会経済活動をより安心して再開できるようになります。

希望する対象の全員が2回接種できる量のワクチンは政府が確保しますので、安心して予約をお取りください。

ワクチンの副反応

ワクチン接種は体内に異物を投与するため、接種したところの腫れ・痛み、発熱、頭痛などが起こることがあります。これは新型コロナワクチンに限らず、他のワクチンでも言えることです。

例えば、米国でのファイザー社ワクチン接種後に起きたアナフィラキシー(急性アレルギー反応)の頻度は、100万回接種あたり4.7例です。74%が接種後15分以内、90%が接種後30分以内に症状が現れています。アナフィラキシーが起きたとしても、接種会場には必ず医師がいますので、その場ですぐに治療を受けることができます。

接種後も対策を

ワクチンを接種しておくことで、感染しても発症や重症化の可能性を低減できますが、全く感染しなくなるわけではありません。

引き続き、密集・密接・密閉の「3つの密」の回避、マスクの着用、石けんによる手洗いや手指消毒用アルコールによる消毒など対策が必要です。

動画で見る
新型コロナワクチンQ&A



一般的なワクチン接種の流れ ※自治体によって異なりますので、必ず案内をご確認ください。

